

2025 年実施教員採用試験一次試験対策講座 I 報告書

2024 年 10 月 25 日（金）に、2025 年度(実施)教員採用試験一次試験対策講座 I の開講式を名桜大学学生会館大講義室 B で開催しました。開講式の参加者は 24 名でしたが、現在の受講申込者は 39 名となっています。開講式では、教員養成支援センター長より、教師には社会から付託された使命があること、教育の不易と流行及びいつの時代にも求められる教師の資質・能力についての説明がありました。引き続き、今年度の合格者による合格体験の報告会を行いました。体験報告及び受講者のこれからの決意を紹介します。

講座の趣旨及び目的 教員養成講座は、現役の名桜生を始め、一般受講者を対象として共に教員採用試験の合格を目指すための学習の場です。また、北部地域の教員採用試験合格者を輩出し、北部地区管内における教員の人材確保及び定着を図り、児童生徒の学力向上に資することを目的としています。

講座実施日

教職・一般教養 週 2 回（毎週火・木曜日）
専門教養は月曜日・水曜日（教科別）

受講者数

教職・一般教養のみ（6 名：名桜生 5、一般 1）
専門教養のみ（12 名：名桜生 4、一般 8）
教職・一般・専門（21 名：名桜生 19、一般 2）

表 1 受験科目別受講者数（11 月 5 日現在）

	名桜生	一般	合計
小学校		1	1
中高英語	15	2	17
保健体育	4	0	4
養護教諭	9	3	12
中高国語		2	2
特支小学部		2	2
高校商業		1	1
合計	28	11	39

学問そのものと教育との間には断層がある。
教育という仕事は、無限に豊富な可能性をはらんだ素晴らしい創造的な仕事です。わからないことがあまりにも多く、分かっていることはあまりにも少ないのです。（遠山啓）



写真 1 開講式の様子

合格体験報告会

◇10 回目の挑戦で見事合格！

- ・特別支援教育の免許を取得したので、その加点が大きかった。過去 5 年の過去問から、出題されている文言をチェックして、出題傾向を把握した。何度も何度も読み、付箋紙をはってどの教科をどのくらい読み込んだかが分かるように工夫した。
- ・算数は暗記ではなく基礎から確実に理解しないと点数が取れないと感じていたので、算数に一番時間をかけて勉強した。分からなかったら、講師の先生や同じ講座の仲間に納得のいくまで聞く。算数に関しては、今回の講座からオンラインで個人的に聞くことができたので、できるときは何回も予約をいれて復習した。その後は分かるまで一人で解く。そして、自分の解いたやり方を仲間に説明する。自然と模試や過去問の点数も安定してきた。日々の教材研究も試験勉強だと思って、授業づくりをおこなった。
- ・模擬授業では、子供たちがわくわくするような授業づくりを考えた。
- ・模擬授業だけど、ほんとに子どもたちに授業をするつもりで授業づくりをした。言語活動の場面設定をして、単元すべての計画をした。模擬授業は動画を撮って振り返りを行った。
- ・模擬面接では、最初は笑われて何度も勉強をして、いろいろわかるようになった。
- ・泣いたり笑ったりしながらメンタルを保って取り組んだ。
- ・4 月から新規採用で学級担任をするんだという強い気持ちで、4 月から採用試験の勉強はしないと決めて採用されるように頑張った。

◇講座を受講してよかったこと

- ・名桜の図書館で集中して勉強することができたこと
- ・教採対策に取り組む時間を確保できたこと
- ・自分以外の受験者がいる、と実感できたこと
- ・一人で取り組んでいたら得られなかった情報を収集できたこと
- ・わからないこと、疑問に思うことを質問できたこと
- ・同じ悩みや不安を共有する仲間がいたこと
- ・他の校種、教科の方の授業を見たり、交流があってよかった。
- ・仲間と一緒にお互いを励ましあいながら、共感しながらアドバイスを受けながら一緒に頑張った。

◇ 現役合格を果たした体験報告

◎ 講座に通い始めた頃は、わからないことばかりだったため、講座で解いたプリントを、テキストを読み意味を理解しながら復習をするということを何度も繰り返していました。一度解き直したプリントは、全問正解するまで取り組みました。また、学習指導要領からも問題が出るため、講座で配られた要点をまとめてくださっている緑色の冊子に、重要な文言だけ緑色のマーカーを引き赤シートで隠して覚えていました。自治体によっては、教育振興基本計画や施策などの問題もですが、県の教育委員会のホームページから PDF をダウンロードし、目を通すようにしていました。これは、二次試験対策にもなるためしっかりまとめておくことをおすすめします。

専門科目(英語)は、毎日英語を聞く、読むということを意識して勉強していました。Youtube で自分が興味のあることを英語で聞いてみると苦にならず英語に触れられると思います。また、読むということに関しては、英語版朝日新聞のネット記事を毎日読むようにしていました。わからない単語があれば調べて復習することで単語力も伸ばすことができました。また、時間があれば英検に挑戦することもお薦めします。出願までに英検や TOEIC で点数をとると、専門科目の得点が加点されたり、専門科目の試験自体が免除されたりすることがあるため、自分の受ける自治体の要項を確認してぜひ受験をしてみたいと思います。

◇モチベーションの維持の仕方や気分転換の方法

モチベーションは絶対 1 発で受かってやるという気持ちを持って維持していました。大変な時期はありましたが、共に頑張っている友人や応援してくださる先生や家族がいたからこそ乗り越えられた部分も非常に大きいです。リフレッシュする日もしっかりと作って追い詰めないことも大切だと思います。また、自分自身が 1 年後どんなふう to 働いているのかを想像すると、より「教員になりたい」という気持ちが増すので、勉強に熱を入れることができました。

・学習の予定をたて(週予定→1 日の予定)、学習内容や学習時間などをスタディプランナーに記録していた。



写真 2 合格体験報告会の様子

◇ 1 日の勉強スケジュール

・部活やバイトの後は疲れているので、だらだらしないように時間を決めて、最低 30 分はするようにしました。(勉強しない日を作らない)

・授業がない日は、10 時～18 時まで図書館やコワーキングスペース、学校で勉強しました。

◇モチベーション維持の方法

・「定期的に本当に教員になりたいのか考えること」

採用試験を受けると決めて、試験に向けて突っ走ることは勉強方法さえ確立してしまえば難しくありません。目の前の目標を追うだけでなく、何のために勉強しているのかを見失わないことが大切だと思います。何度も自分自身に、本当に教員になりたいのかと問いかけました。いろんな道も検討した結果、教員になろうと思うことができたので、自分の選択に自信と責任をもって、勉強に取り組み続けることができました。

◇仲間とともに！

今年がはじめての受験でした。本講座には 2 年次の後期から申し込んでいました。大事なことは、なんといってもチーム力！！ 講座メンバーは共にがんばる仲間です。

分からない問題があったとき、落ち込んだとき、何か困ったときに助け合える仲間を大切にしてください。

◇ 受講者の決意・豊富

- ・養護教諭になりたいという夢をしっかり持ち、現役で合格します。講座に積極的に参加して自分を成長させるように頑張ります。・まずは一次試験突破。
- ・今日、合格者の話を聞いて自分も人一倍努力し、挑戦したい。・まずは基本の部分から学んでいきたい。
- ・現役合格できるように精いっぱい頑張りたい。
- ・現役合格！・計画的に学習を進めたい。
- ・来年度 3 年次チャレンジ受験を受けるため、必ず合格して教職教養を免除にする。
- ・必ず合格するという強い気持ちで試験対策に臨む。
- ・試験に受かるか不安なことが多々あるが、今やるべき勉強をしっかりやりたい。
- ・3 年次試験に挑戦する。・必ず合格する！
- ・効果が出るまで長く辛い道のりですが、継続して講座に参加する。計画を立てて勉強する。
- ・加点になるものは調整し得点につなげる。
- ・絶対に合格するという強い気持ちを持つ。
- ・合格した自分をイメージする。

努力して達成した合格の喜びが伝わってくる合格体験報告会でした。 報告 2024 年 11 月 6 日(水)

教員養成支援センター長 高安美智